

16. 大阪ガス 実験集合住宅 NEXT21



◆所在地
天王寺区清水谷町6番16号

◆概要
「ゆとりある生活と省エネルギー・環境保全の両立」をテーマに、近未来の都市型集合住宅のあり方を提案することを目的として、大阪ガス(株)が平成5年(1993年)10月に建設した実験集合住宅である。竣工以来、平成6年(1994年)4月、平成12年(2000年)4月、平成19年(2007年)4月から各5年間にわたり、それぞれ時代を見通したテーマを設定し、大阪ガス社員とその家族が実際に居住しながら、計3回15年間の実証実験が取り組まれてきた。

平成25年(2013年)6月からは「第4フェーズ」として、「環境にやさしい心豊かな暮らし」をテーマに、人と人のつながりの創出、人と自然の関係性の再構築、省エネ・スマートな暮らしの実現を満たすべき要件と捉え、それらを具現化する、「住まい」および「エネルギーシステム」の2分野の実証実験が実施されている。

樹木も多く配置され、周辺の住民の方々からも親しまれている建物である。

17.U氏邸



◆所在地
天王寺区清水谷町7番9号

◆概要
打ち放しの外観に、豊富な植栽が良く映える。昭和43年(1968年)に職住一体都市住宅のさきがけとして建築された。緑に被われたファサードは年月を重ねるごとに豊さを増している。

日本の現代建築に大きな影響を与えた建築家・西澤文隆による設計。平成19年(2007年)には、NPO法人屋上開発研究会大阪支部が主催する「第1回屋上開発・関西さきがけ賞」の大賞を受賞した。

18. 鶴橋駅周辺の焼肉店の多い街並み



◆所在地
天王寺区下味原町1番~5番

◆概要
天王寺区には鶴橋西商店街があり、ここ数年で焼き肉店が増えたことから“焼肉スクウェア”と呼ばれている。

この商店街の風景は、焼肉店やキムチなどの食材を扱う店などが建ち並び、焼肉の香ばしいかおりやキムチなどの独特なかおりが広範囲にわたって漂っていることから、環境省のかおり100選に選ばれている。

りょうごんじ
19. 楞嚴寺



◆所在地
天王寺区城南寺町1番26号

◆概要
慶長2年(1597年)僧禪牛の開創である。楞嚴寺には織田作の名で親まれ、『夫婦善哉』のように大阪を舞台として、市井に生きる人びとをいきいきと描いた作品を数多く残した「織田作之助」の墓所がある。

20. 總本家釣鐘屋



◆所在地
天王寺区大道1丁目5番2号

◆概要
明治33年(1900年)、地元の有志から四天王寺に大梵鐘が奉納され、大阪商人の心意気を示す快挙として評判になった。その奉納記念として、釣鐘のかたちを模した饅頭を、四天王寺の門前で売り出したのが「釣鐘まんじゅう」のはじまりである。
店舗の屋根につけられた鐘などレトロな外観が、100年以上つづく店舗の歴史を感じさせる。

ぎだゆう
21. 超願寺(竹本義太夫の墓)



◆所在地
天王寺区大道1丁目14番1号

◆概要
義太夫節浄瑠璃の元祖といわれ、慶安4年(1651年)この付近(堀越神社南約100m)の路上に、生誕地碑に生まれた。若いころから研究熱心で小唄・俗謡から物売りの呼声まで身につけ、将来に備えた。その後京・大坂で修業を積み、延宝5年(1677年)に独立、作者に近松門左衛門を迎え、その他、三味線・人形の名手、経済面での協力者を得て「曾根崎心中」で大当たりをとった。
お墓は、超願寺境内にあり、お堂の状態ですら雨風から守られている。

さんこう
22. 三光神社



◆所在地
天王寺区玉造本町14番90号

◆概要
明治41年(1908年)境内の全国唯一の中風除けの神、三光宮を合祀してより三光神社と呼ばれるようになった。毎年6月1日から7日まで中風祈願大祭が行われ、全国各地から多くの参拝者が訪れる。
古くから三光神社の地に真田の抜け穴の話が伝えられている。慶長19年(1614年)の大坂の合戦の頃、真田幸村がこの地に偃月城と名付ける壘を築き、大坂城まで通じる暗道をつ造ったと言われ伝えられており、今も「真田の抜け穴」として保存されており、境内には明治30年(1907年)に建立された真田幸村の銅像がある。